セブ島通信
セブ日本人会報
2015年11月号
（隔月発行）

発行所
セブ日本人会
5th Floor
Clotilde Commercial Bldg.
ML Quezon St.,Casuntigan,
Mandaue City, CEBU
TEL:(032)343-8066
FAX(032)343-7663
発行人：三村幸弘
編集人：セブ日本人会
http://www.ja-cebu.com
info@ja-cebu.com

小泉政務官のセブ観音慰霊と日本人会理事との会談

セブ日本人会　会長　三村幸弘

フィリピン在住邦人の方々はご存知の通り、2015年APECがフィリピンで開催されています。セブではこのAPECに合わせた道路改修工事で多くの方が不便を感じたと思います。APECの首脳会議はマニラで開催されますが、セブでも4回の大臣会合が開催されました。その最初の会合となった構造改革大臣会合に小泉進次郎内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官が出席されました。

この大臣会合出席に合わせてセブにおける戦没者慰霊の申し出が政務官側よりあり、利便性などを考慮した結果セブ観音の慰霊が決定され日本人会理事が参加しました。政務官はセブ観音に献花後、セブ観音建立の経緯の説明を受け悲惨な大戦の戦没者の慰霊ができたことに感謝の言葉を述べられました。またセブ市を見下ろす位置から、ITパークに元特別攻撃隊の基地があったことなどを真剣に聞き入っておられました。この慰霊に際してマルコポーロプラザホテルは急な雨のためのテントや傘の準備など万全のサポートをしていただきました。

慰霊後は場所をホテルのファンクションルームに移し、セブ日本人会理事との歓談の機会を準備していただきました。歓談では各理事が自己紹介とセブで抱える問題や現地での魅力ある生活などを説明しました。「セブ総領事館解説についての要望」「セブの環境問題」「日本人補習校について」「日比交流委員会と盆踊り大会」「セブの魅力」「ダイビング」「フィリピンの抱える貧困とその援助活動について」「40年以前のセブと現在の話」「日本の介護問題と高齢化に対する危惧」などの話が各理事よりなされました。小泉政務官は各理事の話を熱心に聞き入り、その説明に深く入り込んだ質問をされたご自身の意見を述べられました。最後に以下の総評をいただきました。「総領事館の要望は商工会との昼食時に続き、1日に2度も耳にすることとなった。世論は大使館・領事館の予算削減に向かっているが、セブのように在留邦人人口が爆発的に増え、領事事務所に求められる機能が多様化している現状を現地の日本人が訴える必要がある。」「政務官として初の海外出張となったが、奇しくも父である小泉純一郎元総理大臣が取り組んできた、構造改革会合に出席することになり、ここセブに何かの縁を感じる。」「不便だった昔の生活を満面の笑みで話される神田理事の笑顔がとても印象的だった。この笑顔がフィリピン人そしてセブの魅力を表しているようだ。」

政務官に対する印象は、まず言葉の発音がきれいで明確だったこと。これは政治家の家系として特別な訓練を受けていると感じました。次に話の聞き方が非常に上手であり、その話に対する返答も的を射ており、知識の豊富さとネットワークの広さを感じました。さらに会話は権力意識を表に出さず、非常にソフトで相手を包み込む技術を持たれています。

モールで気さくに話しかけられた日本人の方もいらっしゃると聞いています。短い時間でしたが有意義で充実した時間を過ごすことができました。

第7回セブ日本人墓地墓参りの報告

シニア担当理事

リロアンのセブ日本人墓地で9月20日（日）、秋分の日に合わせたお墓参りを行いました。

セブ領事事務所所長の平川領事にもご参列頂き、今回で7回目となる墓参を13人の方々にお集まり頂き行う。ご参列された方、暑い中どうも有り難う御座いました。

定刻の午前10時半開始。

前日本人会長の石田さんによる読経、その間に参列者が焼香。

参列者のご焼香が終り、櫻井日本人会副会長からのご挨拶。

そして石田さんを囲んで参列者全員でセブ日本人墓地に関する有意義な話をし、11時半に滞りなく終わりましたので、ご報告致します。

セブ日本人墓地の生い立ち。

セブ市内のロレガ・サンミゲール市営墓地内に戦前から有った日本人墓地に、不法占拠者が住み着き、墓石を掘り返されて無残な状態だったのを見た、セブ日本人会5代会長の高橋正則様がご自身で所有されていたCaleroMemorial Cemeteryの土地を1998年に寄付して下さる。

その後セブ日本人会が1区画を追加購入し、現在の長方形と土地となった。

そして1999年調布市延浄寺の網代正孝住職に来て貰い、「魂の移転」の宗教手続きと「読経」をして頂く。

網代住職によると「墓地の移転は、旧墓地の墓石やお骨の移動は必要なく、新しいお墓で墓地を移す読経をすれば魂の移転は済む」との事。

この墓地移転の読経により、昭和初期からセブに永眠されていた日本人の魂が、リロアンのセブ日本人墓地に移ったのです。

その後は、すみれ会の皆様にお墓の掃除や、お参りをして貰っていましたが、2006年に当時の作永領事と石田日本人会長ご尽力で、セブ日本人会が管理するようになった。

又、前日本人会理事の方々の呼びかけで、沢山の人からご寄付を頂き2013年に立派な墓地が完成する。関係者の方々には、深くお礼を申し上げます。

最近では今年4月に亡くなった日本人会員の徳永さんが埋葬され、7名が永眠されている。

セブに住む邦人が増えるに従い、セブ日本人墓地に永眠を希望される方が増えると思われる。日本人会としてはセブ日本人墓地の利用規定に沿って、故人が安らかに永眠出来る墓地の運営に、今後とも努力し実施致します。

2015年セブ大運動会

2015年10月4日、FORMER DON BOSCO BOYS HOMEにて、運動会が開催されました。昨年は大雨が降り、途中で中止となりましたが、今年はパラパラと時折小雨が降ったものの、大きな天気の崩れもなく、滞りなくプログラムを終了できました。

フィリピンの学校では運動会のようなものはなく、補習校の生徒を中心とした参加した子供たちは生き生きと競技に取り組んでいました。初めて運動会を経験する子供もおり、途中で戸惑う場面も見受けられましたが、それもまた微笑ましく感じられました。

大玉ころがしでは、重りの入った大玉に翻弄され、何度も転がってしまう子供もいて、会場では大爆笑となりました。

今年はショッピングモールなどでもよく見られるズンバもプログラムに盛り込まれ、インストラクターの指導の元、父兄や生徒を中心に盛り上がりました。フィリピン人のリズム感のよさに圧倒されましたが、日本人も負けてはいられないとばかりに積極的に参加していただきました。ズンバは見ていると簡単そうですが、相当に体力を使うものだということが、終わった後の父兄の皆様の表情をみてよくわかりました。

昨年は途中の雨で中止となったリレー。2年ぶりとなりました。高学年以上のグループでは、最初は白組が圧倒的な強さで紅組を半周ほど引き離し、勝負あったかと思っていましたが、終盤で助っ人のお父さん、お母さんのまさかの追い上げで、結局、紅組の逆転勝利となり、大いに盛り上がりました。

また一生懸命走る生徒を必死で応援する生徒の姿も心に残りました。こんなに熱く仲間を応援できるセブの子供たちを誇りに思い、いつまでもその気持ちを忘れないでほしいと感じました。

紅組115点、白組35点と歴史に残る大差での紅組の優勝となりました。

さて、運動会は日本人会主催で毎年、この時期に開催しておりますが、今年で25回目を迎えることができました。模擬店などもあり、運動会プログラム以外の楽しみとなりました。

補習校の講師の方々を中心に6月から準備に入り、会員の皆様の寄付やご協力をいただき、今年も無事に開催することができたことを、この場をお借りして御礼申し上げます。

★セブ島通信に記事を掲載したい方は「メール：info@ja-cebu.com」迄、お問合せください。
★セブ島通信では、発行日（奇数月の月初）の1ヶ月前を締切として原稿を公募しております。

「大切な 未来を築く その権利」

～在外選挙の制度と手続きについて～

登録・投票は簡単です

必要書類を準備し申請書に記入、大使館、総領事館窓口で登録申請 ▶ 3か月後に大使館などから住所確認の連絡を受ける ▶ 選挙人証の受取

用意するもの

※申請書や選挙人証が海外・国内を往復するため2・3か月かかります ※選挙人証受取は郵送又は窓口での受取が選べます

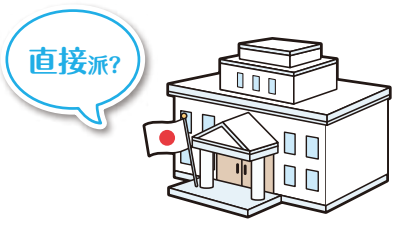
代理で同居家族を通じた申請もできます。
申請者の上記書類と署名入り在外選挙人名簿登録申請書と申出書※、代理の方の旅券をご用意ください。
※領事窓口または総務省のホームページから入手できます。

在外選挙登録資格

①満20歳以上で
②日本国籍を持っていて
③海外に3ヶ月以上お住まいの方

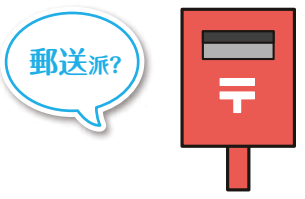
公職選挙法の改正により2016年6月19日において満18歳以上の方(1998年6月20日以前の出生者)も登録申請できます

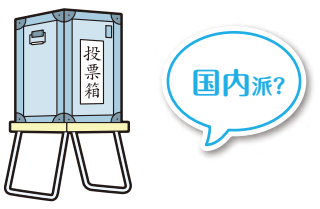
在外投票は次の3つの方法から選択できます



在外公館投票
直接日本大使館・総領事館（領事事務所）に出向いて投票する方法。

郵便等投票
投票用紙等を請求して、記載の上、登録先の選挙管理委員会へ郵送する方法。





日本国内で投票
一時帰国した方や帰国直後で転入届を提出して3ヶ月未満の方は、日本国内でも投票できます。

■平成22年5月に憲法改正国民投票法が施行されました。在外選挙人証をお持ちの方は国民投票にも投票できます。

詳しくは、在セブ領事事務所 TEL：032-231-7321 Mail:cebucoj@ma.mofa.go.jp または 外務省 在外選挙 検索 まで。

外務省

2015 年（平成 27 年）11 月 1 日
セブ日本人会理事選挙管理委員会
委員長 : 石田　武司

２０１５年末をもって現理事の任期 (２年) が満了になります。
つきましては新理事の立候補を下記の通り受け付けますので、ご案内申し上げます。

立候補者受付 : １１月０１日 (日) ～１１日 (水)

立候補ご希望の方は以下の申し込み用紙にてセブ日本人会事務所まで提出してください。
尚、理事定員 (９名) を上回る応募者がある場合は選挙実施となります。
選挙告示日は 11 月１６日、選挙は１１月２３日月曜日の予定となっております。
選挙が行われる場合の詳細については後日連絡させて頂きます。

* 注 . 理事に立候補できるのは、セブ日本人会正会員の方で任期中活動可能な地域に居住予定の方となります。
賛助会員、家族会員、臨時会員の方には、被選挙権がありません。
新会長は新理事によりその中から選出し、各担当職務を発表します。
以上

---------- 切り取り ----------

セブ日本人会理事選挙管理委員長殿

セブ日本人会理事選挙立候補届

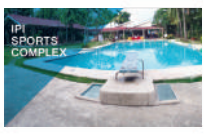
2015 年　月　日

2016 年度セブ日本人会理事選挙に立候補します。
立候補者名：
現住所：
生年月日：
出生地：
国籍：
職業：
勤務先：
所在地：
連絡先：
所信表明：

日曜市のお知らせ

ABOUT
セブ日本人会では日本人の交流を深める為に"日曜市（旧土曜市）"を再開します。
IPIにはスイミングプールがあり泳ぐのは自由で椅子やテーブル等の準備をしております。
（お子様用のプールもあります）
※水着着用

日時：11月15日（午前10時～）
場所：IPI・スポーツ・コンプレックス
入場料：無料



今回も協賛店などのご協力頂き"屋台"も出店いたしますので飲み物や食べ物もたくさんございます。入場料は無料なのでご家族やお友達もお誘いしてお越しください。日本人会会員に限らずお気軽にお誘いしてお越しください。
※出店ご希望の方は下記連絡先までご連絡ください。

MAP

連絡先：
クロコウチ・ナオキ
電話番号: 0917-311-2500

協賛店紹介　日本料理　夢屋　喜兵衛　Japanese Restaurant Yumeya -Kihei

日本料理　夢屋　喜兵衛は料理人故須田靖章により 2001 年 9 月に当時のセブプラザホテル（現マルコポーロプラザセブ）にオープン。2003 年 3 月にホテルが一時閉鎖した為現在のお店で 2003 年 6 月よりリニューアルを開始しこれまでセブ島の皆様をはじめ多くの皆様より愛され続けています。故須田靖章の味を継承しこれからも夢屋ファミリー一丸となってセブ島の日本料理界を盛り上げていきますので皆様是非お越しください。
夢屋でしか味わえないおまかせ料理、仕出し弁当、出張パーティーなども引き続き取り扱っていますのでお気軽にお問い合わせください。

お店の名前	日本料理　夢屋　喜兵衛
お店の名前（英語表記	Japanese Restaurant Yumeya -Kihei
営業時間	11:30am-2:30pm ランチ 5:30pm-10:30pm ディナー
定休日	なし
住所 （可能であればタクシー運転手への行き先の伝え方等）	Grand Floor F.Cabahug St.,Mabolo Cebu City タクシー運転手にはキャッスルピークホテル近くと伝えると便利。
電話番号	(032)234-2388 お店 (032)234-2551 事務所 (032)234-1853 fax
メールアドレス	shotlovesfood@gmail.com
ホームページ	https://www.facebook.com/yumeyakihei?fref=ts FB :Yumeya Kihei Japanese Restaurant
お問合せ担当者名等	須田　章太郎

プロモのお知らせ　11 月 1 日から３０日までお食事に限り 10% の値引きを行います。（但し現金での支払いのみ）5%(クレジットカード)

ALICE GARDEN 誕生秘話

竹石真史郎

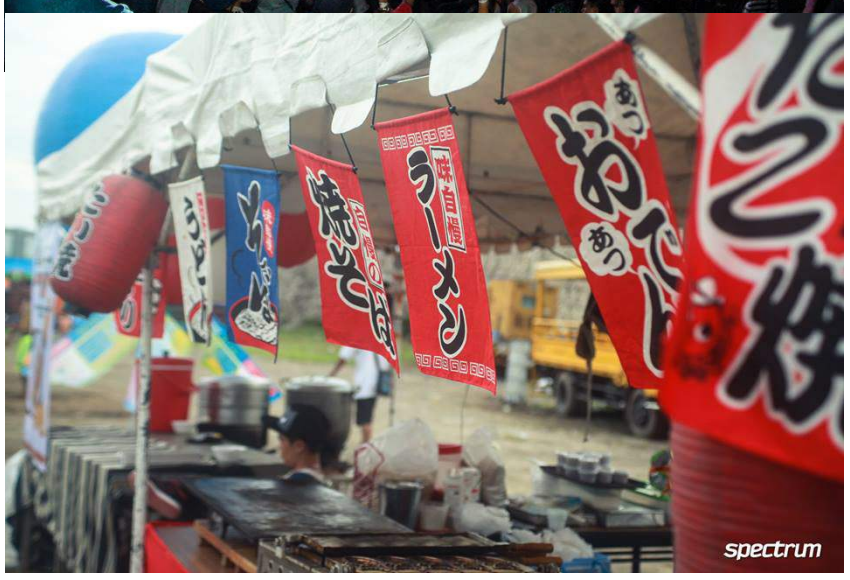
Alice Garden が今に至るまでのお話をしたいと思います。なぜ私達がセブ島で起業することになったのか。それは 2011 年、語学留学でセブ島に来たのが始まりでした。そこで現オーナーである３人 (竹石真史郎、吉田凌、斎藤晴樹) が出会いました。当時、僕が 22 歳で斎藤は 20 歳、吉田はまだ 17 歳という若さでした。 帰国後もセブの人々の明るさや大らかさに惹かれ、大学の夏休みや春休みを利用してトータル 3 回の留学を経験しました。 大学卒業後、留学で出会った先輩がセブで IT 企業の立ち上げに関わると聞き、海外で働くことが身近に感じられました。そして、その先輩が働いている会社でインターンとして受け入れていただき、半年後には吉田も一緒に働くことになりました。 しかし、当然インターンシップで収入を得ることはできません。そこでこれからどう収入を得ていくのかを二人で考えた結果、サプリメントや化粧品のネット販売に取り組みました。 近所にあった韓国人オーナーのカフェを仕事場として利用し毎日のように通っていると、数ヶ月もしないうちにオーナーと親しくなり、食事や遊びに出かけるようになりました。 そして、その韓国人オーナーに「いい場所が見つかったから共同経営でカフェをやらないか」と持ちかけられたのが今の Alice Garden の始まりでした。 場所はラホッグのウィルソンストリート、キャンプラプラプの入り口。少し奥まっていますが同じ通りには FUJINOYA、PINO、Mangahan など有名店が多数あり、近くにはホテルや語学学校もあったので出店を決めました。 しかし、３人でカフェを作ろうとするも様々な壁に突き当たりました。 まず、韓国人カフェオーナーに紹介された同じく韓国の建築業者は、2 ヶ月を予定していた工事に 6 ヶ月費やした上にオーダーしたものと全く違い、建物自体も欠陥だらけ。結局ほとんど手付かずのまま連絡がつかなくなってしまいました。またさらに追い討ちをかけるかのように、出店を持ちかけてきた韓国人オーナーが僕と吉田で出した資金を使い込んでいたことが発覚し、離れることになりました。 メニューもその店から持ってくる予定だったのでレシピすらなく、経験のない 2 人とボロボロの未完成の店、そして研修中のスタッフ 4 人だけが取り残され、一時は日本への帰国も考えました。 しかし、このままでは皆に顔向けできない、どうにかしなくてはならないと思い、日本から斎藤を引き入れ全てを一から見直しました。 そして自分たちで内装やデザインを手がけ、業態をカフェからレストランに変更しメニューを考え、従業員を教育してやっと満足に営業出来る段階にできました。 しかし、やっとの思いでオープンするも売上は上がらず、厳しい状況が続きました。 そんな中、先輩方が毎日のように知り合いを連れて来て下さったり、宣伝して頂いたりと売上が立つまで助けてくれました。留学時代に惹かれたセブ島の人達の優しさを、今度はビジネスを通して実感しました。 そんな周りの方々に支えられて、今ではお客様から「雰囲気が凄くいい」「セブ島でベストのパスタだ」「コーヒーがとても美味しい」などのお言葉を頂き、あの時諦めずに力を合わせてやって本当によかったなと思います。 これからもより良いお店を目指し、お世話になった方々やお客様に少しでも恩返しできればと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

セブでの大学祭

前田　高洋

９月１９日（土）にここセブの SRP（South Road properties　新しく年内にできる SM Seaside の近くです）で、日本でいういわゆる大学祭がありました。好奇心旺盛な私は、このイベントで日本食の屋台を出すと友人から聞いて、それならぜひ手伝いをさせてくださいとお願いすると、何と綿菓子とヨーヨー釣りをお願いされることになりました。手伝いだけのつもりが、まさか１人で任されるとは、、、。しかし、ここは何でも経験、何とかなるだろうと楽観的にその時は考えていました。

当日は何とか雨もほとんど降らず、曇って、暑すぎず、完璧な天気でした。会場は海沿いで、それなりの大きさ。到着すると、何と大学生が日本の遊びをチーム対抗戦で勝負していました。運動会でよくやった、綱引きやキックベース、ドロジュン（鬼ごっこの一種）などで盛り上がっているではないですか。たまたま今回は祭りに日本の遊びをやろうということだったらしいです。子供の時によく遊んだゲームを、こちらのフィリピン人がやっているのを見ていると微笑ましくなりました。そして文化交流として、こういった遊びをお互いに紹介して、実際に体験してみると相互理解が深まるきっかけにもなるのではないかとも感じました。



さて、肝心の屋台のほうは８月にあった盆踊りの記憶を思い出し、フィリピン人は甘いもの好きなので日本の物は珍しがって、綿菓子はばか売れに違いないと考えていました。しかし、ふたをあけてみると、全く売れないのです。お客さんは、ほぼ大学生。一般のお客様は皆無にちかかったです。というのも、入場料だけで４００ペソもしたのです。盆踊りと比べたら４０倍の値段。しかも場所はジプニーが通ってないところだったので、車持っている人かタクシー、バイクなどで来られる人しかいなかったでしょう。富裕層でなければ、正直誰も来ないだろうと感じました。家族連れや、子供に人気のある綿菓子とヨーヨー釣りは、大学生の年代に興味を引き付けるには厳しかったです。他の日本食（ラーメン、カレー、おにぎり、焼きそば、豚丼など）も、ほとんど売れず、厳しい売り上げでした。ちなみに後日気づいたのですが、SM モールに綿菓子を売っているところを見つけたので、フィリピン人にはそんなに珍しいお菓子じゃないのかもしれないですね。

そして夜になると、定番のディスコタイム？こちらの人は本当に音楽好きで、踊るのも大好きなのはよくわかります。この日は朝の２時まで踊っていたそうです。さすがに私は眠かったので、途中で帰りましたが、声出して、ジャンプして盛り上がってる大学生たちを横目で見て、若いっていいなと感じさせられました（笑）屋台の売り上げは厳しかったですが、貴重な体験ができました。

はじめてのアルバイト

若菜　莉鶴

とにもかくにも初めてのアルバイトだったので緊張しました。
母から通訳 (英語から日本語、日本語から英語) できる人を募集しているから私と兄で行ってみたらと言われ渋々インタビューに行きました。インタビューは電話で行われましたが、ただ日本語で自己紹介をするといういかにも簡単なものでした。テレビドラマの、個室に呼ばれていろいろ質問される場面を想像していたから拍子抜けしました。しばらく日が経ち「採用します」というメールが届きました。が、兄には不採用の返事が…。当日は一人で会場に向かいました。大学で仲良くしているお友だちが、そのイベントで歌を歌うと聞いたので、不安な気持ちもありましたが心強く思いました。
集合時間に行ってみると、なんと兄に流された不採用のメールは、他の人へのものであり、それが間違いであったというメールが兄には届いていなかったのだとか。担当の方から今から来れるかと聞かれたので、電話をかけて事の次第を説明し、急いで来るよう言いました。
通訳の仕事はアヤラで行われました。ジェリーフィッシュという学校が、セブの high school student を招き、日本から来た様々な専門学校を紹介するというイベントの中での仕事です。
いくつもの専門学校がそれぞれのブースを開いて、色々なパンフレットやポスターを、配ったり貼ったりしていました。私の仕事はというと、一つの決められたブースでその学校が何処にあって、どんな事を学ぶかを、その専門学校から派遣された方と共に英語やビサヤ語で説明するというものでした。
私は横浜にある芸術やファッションの専門学校に配属されました。最初こそ戸惑いましたが、時間が過ぎるにつれだんだん仕事が楽しくなりました。通訳の中では、私が一番年下だったので本当にソワソワしていたと思います。でも話し相手がみんなハイスクール４年生ぐらいだったのですぐに慣れました。
なにはともあれ初めてのアルバイト、とても楽しい経験をすることができました。おわり。

すえひろ亭　焼肉・食べ放題
SUEHIRO-TEI
JAPANESE YAKINIKU RESTAURANT
• 本格的な焼肉と、食べ放題メニュー満載！
• 月曜定休　火曜～日曜日
• 午前11時～午後2時　午後5時～10時（9時半ラストオーダー）
• HTT Building A.S.Fortuna Banilad Mandaue City
• Tel:520 3932　Website:www.suehiro-teicebu.com

協賛店紹介　ブタンディン・マリン・ダイバー　BUTANDING MARINE DIVER

セブ、マクタン島マリバコで営業しております。
お客様には「アットホームですね」と本当に良く言われます。
特に意識はしておりませんが、いらして頂くとまず最初に元気で人懐っこいわんこが遊んで〜とお出迎えし、小さいショップですので担当ガイドが同じ者になる場合が多く親近感がわくようです。
こういった内容ですのでお一人で来るのが不安な方も「ここは一人でも全然大丈夫ですね」とよく言って頂けます。

そして９９%が日本人のお客様ですので現地のフィリピン人でも普段から日本語を勉強しておりならべく日本語での接客を心がけており、そこからダイビングでは安全第一を考えての少人数制ですので初めてのお客様や久しぶりのダイビングで不安な方にも丁寧に時間の許す限りご案内させて頂いております。
そしてもちろん楽しんで頂けるよう面白い話や冗談を言って笑って頂きます（笑）
また、他のお客様がいない時にはならべくいらして頂いたお客様が楽しんで頂けるようご希望には多少沿うようにはしており、例えばお昼の休憩中はスノーケリングをしてもいいです。そしてそれは１５分だけ〜などではなくお客さんがご希望されれば基本的にはお客様がボートにお戻りになりたいと思うまでして頂き、その後２本目のダイビング開始などと言った形です。
「やはりセブに来て良かった！楽しかった！」と言って頂けると嬉しいですね。日常よりそう思って頂けるように接客を心掛けておりますので「このショップにして良かった」と言って頂けることが多くお客様からの「ありがとう、楽しかった。また来ます」の一言が本当にこの仕事をしてて良かったと思える瞬間ですね。

多くのお客様に来て頂き楽しんで貰いたいため格安料金でご提供させて頂いておりますがあまりに安いため「なにかあるんですか？」と疑われる事も。。（笑）もちろんですが何もありません（笑）
むしろ少人数制でゆったりと丁寧にご案内しておりますのでお得かと思います。決して安いから手を抜くような事はありません！

遊びに来て頂いた方は家族です。セブを、ダイビングを、そして当ショップを好きになって頂けるようこれからも務めさせて頂きます！

お店の名前	ブタンディン・マリン・ダイバー
お店の名前（英語表記	BUTANDING MARINE DIVER
営業時間	９：３０〜１８：３０
定休日	なし
住所 （可能であればタクシー運転手への行き先の伝え方等）	White Sand Subdivision, Maribago　Lapu-lapu City, Mactan Island, Cebu not white sands hotel. this hotel front,have a Gardman house. much better question Gardman. ホワイトサンドホテル前のガードハウスで場所聞いてもらえるとわかりやすいです。
電話番号	+63-32-239-6845 （ショップ） +63-919-596-6718 （担当ナナ）
メールアドレス	travel@cebu-diving.com
ホームページ	http://www.cebu-diving.com
お問合せ担当者名等	ナナ

ジンベイツアー（2 名様〜）
ダイビング　各種機材取り揃えています。
アイランドホッピング　パッケージ
特別キャンペーン中！！

セブ マクタン島の ダイビングショップ BMD
ブタンディンマリンダイバー
Butanding Marine Diver

ヘイズ（Haze）の発生に伴う注意喚起

２０１５年１０月２８日
在フィリピン日本国大使館

１　煙害（ヘイズ：Haze）の発生状況
（１）９月中旬以降，インドネシア・スマトラ島などにおける野焼きや森林火災が発生源と見られる煙害 (ヘイズ）により，マレーシア各地及びシンガポールにおいて大気汚染指数の悪化が報告されていました。
（２）フィリピンにおいても，先週から南部ミンダナオ地方及びビサヤ地方の一部において，視界不良による一時空港閉鎖，フライト便がキャンセルなどの影響が出始めています。環境天然資源省（ＤＥＮＲ）は，この影響を踏まえて，調査した結果，ミンダナオ地方の複数の州において，ヘイズに起因する高レベルの大気汚染物質が含まれていたことを公表しており，当局によるモニタリングの強化が行われているところです。
（３）保健省は，今回のヘイズの影響を受け，呼吸器感染症，心臓疾患のリスクが増大するおそれがあり，特に，高齢者，子供，呼吸器疾患や心臓疾患のある方に対し，外出時におけるマスクの着用などの注意を呼びかけています。今後，中部のビサヤ地方，マニラ首都圏においても影響が出る可能性も考えられますので，下記３に記載した予防・対策事項をご一読の上，十分な予防及び対策を講じるようにしてください。

２　煙害（ヘイズ：Haze）とは
　インドネシア・スマトラ島などにおける大規模な野焼きや森林火災により生じた煙が，南西季節風 (モンスーン) により，マレー半島やシンガポールに流されることにより生じる煙害を指します。例年，乾季に当たる５月〜１０月に観測されます。なお，今回のフィリピンでの影響は，先般発生した台風２４号によるものとの見方があります。

３　ヘイズによる大気汚染への予防・対策事項
　ヘイズが原因で，咳やくしゃみ，喘息，気管支炎，結膜炎等の症状が出ることがあります。ヘイズによる対策については，次の諸点に注意してください。
（１）不要不急の外出は避ける。
（２）外出時にはマスクの使用を心がける（なお，ヘイズには PM2.5 も含まれるため，「N95」など，マスクの性能規格についてもご留意ください。）。
（３）うがいを励行する。
（４）水分を多く取る。
（５）症状が深刻な場合には、最寄りの医療機関に相談する。

◯参考情報
フィリピン保健省
https://www.facebook.com/OfficialDOHgov

セブ在住だけどまだ余りセブやボホールの観光をしたことがない、、、、
日本から友達が来るので、一緒に出かけたいけどガイド出来るほどよく知らない、、、、　などお悩みの方は、是非とも弊社までお尋ね下さい。
格安料金でのホテル手配やオプショナルツアー手配など様々なプランのご相談を賜ります。アイランドピクニックから市内観光、ボホールツアー、楽しいツアーをご提供いたします。
PTNトラベルはココが安心！
フィリピン政府観光省認定の正規旅行代理店
日本人スタッフ常駐だから何かと安心
日本人スタッフの携帯電話は24時間対応。夜中のトラブルでもすぐにサポートします。
現地では観光省公認ガイドがご案内
まずは気軽に日本人スタッフまでお電話してみて下さい。　直通ダイヤル 0917-622-0373

PTN トラベル　PTN TRAVEL CORP
(032)-340-7910/495-8521
c/o Shudou Jyuku Brgy, Lapu-lapu
オプショナルツアー

セブ市内観光	US＄60
アイランドピクニック	US＄80
ボホール島1日観光	US＄120
みどころツアー（夜景観賞）	US＄55
ナイトシティツアー	US＄55
わくわくマクタン島めぐり	US＄30
カワサンフォールツアー	US＄95
ニューハーフショー＆ディナー	US＄55
シャングリラビーチツアー	US＄95〜

その他多数、用意してます!!上記料金は、大人お一人の料金です。子供料金もあります。セブの海を楽しみたい方、お気軽にお問い合わせ下さい。

神楽 居酒屋 KAGURA 居酒屋・健康ランド温泉

当店は、お風呂&マッサージを併設する居酒屋です。セブご在住の日本人はもちろん、ツーリストや地元セブの方々にもご好評を頂いております。無線ラン設置ですので、店内ならどこでもインターネットに接続できるなど、嬉しいサービスもございます。

メニュー例

●ねぎま ●ぎょうざ ●刺身盛り合わせ
●ラーメンほか250種類以上のメニュー!

営業: 朝10時から深夜2時まで

お仕事やゴルフ、ダイビング後のリラックスなどに最適です。一日の疲れた身体を当店自慢のお風呂でゆっくりとほぐし、マッサージサービスもあわせてご利用くださいませ。

Tel. No.: (032) 346-0088
A.S. Fortuna Street, Mandaue, CEBU

楽しいショーと美味しい食事

セブに来たら花魁においで！

人気の１００ペソメニュー
だし巻きたまご、冷奴、枝豆

日本食レストラン「花魁」では日本より直輸入の日本酒、缶チューハイなど取り揃え皆様をお待ちしております。隣には「オイラン・プールバー」がオープン！ビリヤード、カラオケなども楽しめます。こだわりの日本食とショーで満喫して下さい。

エメラルドグリーンダイビングセンター
Emerald Green Diving Center

☆★ ジンベエツアー開催 ★☆

日本人インストラクターが5人常駐！！ダイビングが初めての方やお一人で参加される方にも安心。少人数、安全そしてきめ細かなサービスで快適なダイビングを約束♪またセブ島の南サンタンダー、モアルボアル、ボホールにも支店(もちろん日本人インストラクター常駐)がありますので、マクタン以外の海を潜りたいダイバーの方は、ぜひこちらも潜ってみてはいかがですか?

電話:(032)495-7728 or 495-8372
携帯:0917-321-6349(日本語可)
場所:Anemone Resort 内
Buyong, Maribago, Lapu-lapu City

特典 セブ島通信を見て事前にダイビングをご予約された方 オリジナルTシャツ贈呈&ランチ無料!
プロモ期限:当セブ島通信発行年月より1年間

… 日英翻訳 …

(Document Translation)
＊公文書 / 証明書 ＊仕様書 / マニュアル ＊契約書等
(横浜市立大学文理学部英文科卒 鈴木 了)

… 遺族年金申請手続 …

(Procedures for Pension Benefits to a Filipino family)
＊フィリピン妻子への遺族年金申請手続。
(日本国での担当:宮下 尚之 伊東市社会保険労務協会)

… 法律相談 …

(Legal Advice & Assistance).
弁護士による諸手続・法律相談
＊会社設立 (SEC/DTI)(Mepz 含む) ＊養子縁組・離婚訴訟等
(担当:弁護士ダニロ シノブハン 日本語話します)

● *Inquiry: D'Tratou Cebu Translation & Travel Assistance*
Cell:0917-7171-839.
TEL&FAX:263-0614.
● Washington South St, Royale Cebu Estate,Consolation, Cebu 6001
● www.cebu-mactan.jp www.mactanboy.com
● Email: suzkicebu@yahoo.co.jp

毎日のお食事に困っていませんか？

日本食つき シェアハウス

2016年、日本人の方を対象にしたシェアハウスを開設します。場所は、JYスクエアのあるLAHUG地域からトップス方面に上り、車で約15分。
緑豊か、眺望抜群の住宅街で、私の故郷・札幌よりも空気がきれいです。
お住まいになりたい方はメールでご連絡ください。
詳細は www. jhouse.ivory.ne.jp をご覧ください。

●定員6名様(ご家族同室可) ●食事付
●個室(鍵付) ●各室専用のシャワーとトイレ有
●無料Wifi ●メイド有 ●共用車と運転手付

連絡先:まさ・まみ(夫婦と3人の子ども)
jhousecebu@yahoo.co.jp

協賛店一覧

割引き、もしくは特別サービス御座います。
必ず会員証をご持参ください

■食材店
町屋マート

■ホテル・ビーチリゾート
アネモネリゾート(マクタン)
ルビリゾート(サンタンダー)

■ダイビング・マリンスポーツ
アクア・マリンスポーツ
ブダンディン・マリン・ダイバー
アクアバディス
エメラルドグリーン・ダイビングセンター
マクタン店
サンタンダー店
モアルボアル店
ボホール店

■飲食店
【セブ市】
遊々亭(和食)
さっちゃん(お好み焼き)
タランバン店
悟空(和食)マボロ店
ミッキーズ(ケーキ)
Q 兵衛(和食)
Jazz'n Bluz(レストバー)
TYMAD BISTRO(フランス料理)
夢屋喜兵衛(和食)
AMPERSAND(西洋料理)

■旅する
フレンドシップツアーズ
KSB トラベル
AS レンタカー

■飲食店
【マンダウエ市】
神楽(和食)
オイスターベイ(シーフード)
庄内(和食)

【マクタン島】
だるま(和食)
空海(和食)
夜桜(和食)
マリバゴグリル(フィリピン料理)
花魁(和食)

■美容・健康
ファウンテン・アロマ
(マッサージ)
ワウ・セブ歯科医院(歯医者)

■レジャー・スポーツ
セブトップ
(遊覧飛行、体験飛行)

■その他
Character Studio
(オリジナルグッズ)

CJS だより

Since 1983, Cebu apanese

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

みんなの思い

生徒や父兄の運動会への思いを紹介します。

・楽しかった。
・面倒くさかった。
・リレーがよかった。筋肉痛になった。
・走るの大好き!
・パン食い競争がよかった。
・玉入れは全校生徒でできればいいと思う。
・1～3年生の競技も高学年ができるようにしてほしい。
・高学年も徒競走に参加したい。
・ズンバでは、ママもヤヤもみんな楽しめた。ズンバは圧巻だった。
・タミヤのプラモデルがもらえてうれしかった。
・今年は雨が少しだけでよかった。
・鯛焼きがおいしかった。たこ焼きがおいしかった。
・飲物が売っていなかった。
・子供だけでなく大人も楽しめてよかった。
・司会はその場に合った言葉が選ばれてコメントされていて、会場が盛り上がっていた。
・現地校はグラウンドも狭く、大人も子供も楽しめる行事がないので、こういう運動会はとてもよかった。
・また来年も楽しみ。

運動会 ―雑記―

森綾子

10月4日日曜日、2015年度の運動会が開催されました。今年は大雨が降ることもなく、暑過ぎることもなく絶好の運動会日和でした。

日本の運動会というと、私達の住んでいた奈良市の学校では、子どもは残暑の季節に毎日厳しい練習、母は早起きしてお弁当作り、父はやはり早起きで観戦場所とお弁当の場所取り（徹夜組が出た年もありました）、本番中もたくさんの子ども達の中から間違えずに我が子の姿を確認して写真を撮るというプレッシャー、となかなか大変なイベントでした。なので2年前にセブ日本人補習校の運動会に初参加した時には場所取りしなくてもいい、しかもテント、テーブル、椅子まである！屋台が出て食べながら観戦できる、子ども達は日本の運動会を味わうことができる、と久々に「運動会って楽しいイベントだったんだな」と思い出させてもらった気がしました。

3回目の運動会になる今年、改めて思うのは協力して下さる企業の方々を始め、PTA、先生方と多くの人々に支えられてこの運動会が成り立っているということです。先生方は競技ごとに担当を決めて当日の段取りや事前準備されていますし、搬入や会場設営には企業の方達に多大なるご協力をいただいています。他にも私が知らないところでもたくさんの方のご協力があるに違いありません。PTAのご父兄には主に当日競技中にお手伝いをお願いしています。通常PTAのお母さんお父さん方は学校の送迎では顔を合わせる程度ですが、このようなイベントの時には協力しあって子ども達を盛り上げるのも海外ならではのことだと思います。普段あまり交流のない方達とお話できるのも私の楽しみのひとつです。

また、日本人会の運動会でもあることで、学校だけの運動会ではそうはいかないでしょうが、大人たちもしっかり参加して楽しめるのが良いところです。そしてフィリピン人のお母さん達もフィリピン料理を作ってきて下さったり、ノリノリのズンバで盛り上げてくれたりと大いに楽しんでもらえたかと思います。そして子ども達の楽しんでいる様子、がんばっている様子が大人たちには一番嬉しく感じるところでしょう。疲れも苦労も吹き飛ぶ瞬間だと思います。

来年もまた運動会を楽しみにしています。

今年の運動会

常夏のセブ。時折の小雨もありましたが、ほどよい曇り空のおかげで雨でびしょぬれ、汗でびしょぬれというのは避けられたようです。観客から喚声が湧きあがるおおとりのリレーで紅白の決着がつきました。百十五対三十五で赤組の優勝。競技は以下のように続きました。

玉入れ

三年生までの子供たちが参加します。玉入れに使うバスケットは運動会がはじまってからずっと使い続けている愛着のこもったもの。バスケットまではなかなか届かないけれど、一生懸命玉を投げている子供たちが印象的でした。

台風の目

竹の棒を三‐四人で抱えて一緒に走るゲーム。メンバーの走る速度が違うと置いてきぼりにされてしまうことも…。白熱して棒の受け渡しに苦労する場面もありました。

綱引き

低学年と中高学年それぞれでの対戦。低学年では白組が赤組にズルズルと引っ張られてしまう場面が印象的でした。

徒競走

スタートの白線を踏みながら、走る気満々の子供たち。勢い余って、第2走者が第1走者に混ざって一緒に走ってしまいました。

障害物借り物競争

コメ袋に入ってジャンプ、プラスチックの玉子をスプーンに乗せて走るエッグスピーン、フラフープ、そして最後の関門・借り物では眼鏡をかけている人、スニーカーをはいている人、帽子をかぶっている人などのお題。一人で探しに行く子、インストラクション通りの人が見つかったのに恥ずかしくてお願いできない子、お手伝いのお母さんに手を引かれて探す子などがいました。

ここまでおいで

就学前の子供たちが、ゴールに向かって走り賞品を受け取るゲームです。小さい子が走る姿はとてもかわいらしいです。

パン食い競争

大好評のレオナのケーキ。子どもも大人もお手伝いの方々、講師たちも参加しました。洗濯バサミに挟まれたケーキの袋をかじりとるのは意外に大変なものです。

ニアピンコンテスト

大人の部・優勝は日本人会会長の三村幸弘さん、2位は門村照夫さん、3位は諸正弘さんでした。

子供の部・優勝は、きれいなフォームでスイングした諸正蓮くん。ボールがポールから1ｍ30という大人顔負けの記録、2位は菅原優一くん、3位は秋山宙大くんでした。

親子二人三脚

日頃のコミュニケーションがチームワークの秘訣でしょうか。恥ずかしがらずにもっとたくさんの親子に参加してほしかったです。

大玉ころがし

小柄な男子は大玉に引きずり込まれて一緒に回転してしまう場面も見られました。そんな光景に溶け込み朗らかな笑みを誘うBGMが流されていました。

ダンス・ズンバ：3人のインストラクターのリードの元、お母さんたちが軽いリズムに乗ってイキイキとダンスダンス。人知れず、練習を重ねてきたお母さん方、お疲れ様でした！私たちが子供のころはフォークダンスでしたけれど、時代は変わりましたねぇ。毎年恒例になるかも？

紅白リレー

低学年の部　12組の構成でしたが、ちょうどの人数が集まらず、2回走ってくれた生徒もおりました。日頃から整列する機会がないためか、何度列を作ってもすぐにバラバラになってしまい、次の走者を探し出すのに一苦労でした。

高学年から大人の部　15組の走者で競いました。アンカーを申し出る頼もしい男子、毎年参加してくださる父兄や足自慢の一般参加者の皆さんのおかげで一番盛り上がる競技となっています。中盤から赤組が追い上げ追い越し、最後まで逃げ切り優勝が決定しました。

選手宣誓

われわれは、この運動会を準備してくださったすべての方々への感謝の気持ちを胸に、けがをすることなく、全力で楽しむことを誓います。

・紅組代表　花尾　亜美
・白組代表　栗田きあん

開会式でのトロフィー返還は三浦キリサミーさん、表彰式での優勝トロフィーは松岡愛子さんが受け取りました。

すきなこと、なあに

小学1年生の作品

・わたしは、りんごがすきです。たべるとうれしくなるからです。（やまもと　なおみ）
・わたしは、かるたがすきです。かるたをすると、どきどきわいわいするからです。（たかやま　あさこ）
・わたしは、がっこうにいくことがすきです。がっこうにいくと　いろいろならうからです。（さくらい　あこう）
・ぼくは、おんどくをするのがすきです。ほんをよむと、わくわくするからです。（こみやま　ひなた）
・ゲームをするのが　すきです。ゲームはゲームだ。（しおや　けん）
・わたしは、おしょうがつがすきです。おしょうがつは、おとしだまをもらえるからです。（もりた　みちや）
・わたしは、べんきょうすることがすきです。べんきょうすると、うれしくなるからです。（すずき　まんえ）
・わたしは、べんきょうすることがすきです。べんきょうすると、うれしくなるからです。（やまだ　さち）

試験対策　奮闘記

～12月の日本語能力試験に向けて～

林　美恵子

今年の1年生が補習校に入学してから半年が経ちました。ひらがな、カタカナの学習が終わり、漢字の学習も始まりました。なかよしの友だちもできて、休み時間には、みんななかよく遊んでいます。今日の国語の勉強は「すきなこと、なあに」。自分のすきなこととその理由を二文で書く練習です。マス目用紙を使って書くのですが、姓と名の間は一ます空ける、文の書き出しには一ます空けるなど、初めて習うことに戸惑いながらも、みんな上手に書けました。どの作品も、微笑ましく穏やかな気持ちにさせてくれます。

（担任　加藤）

JLPTとは日本語能力試験のことで、日本語を母国語としない人たちのための試験。セブ会場では今年から7月と12月の2回実施となった。

今回の対策受講者はN1－1名、N2－2名、N3－3名の計6名。

1時間以上かけて通ってくる生徒もいる。初日のテストでは、ほぼ全員が、合格ラインにもう一歩！という結果。それを受けて、私の「責任の炎」がメラメラと燃えてきた。

「先生は、デビルだ！」そう言われようが、少しでも合格の可能性をあげるため、先生だって必死！

でも、実は彼ら、しっかり復習したり、宿題を得意げにみせたり！可愛いでしょ！？

将来、日本に戻るから、日本で仕事をしたいから、自分の日本語レベルを試したいからなど、受講理由は様々。

語彙・文法は、比較的勉強しやすいし対策もしやすい。しかし双方、読解にはなかなか苦戦している。社会的・科学的な内容となると、全体的な把握や行間の意味をとる必要も出てくる。

楽しくテスト！楽しく問題に挑戦！読解で表情歪む・・・

そんなこんなで、毎回、あっという間の90分が過ぎ、子ども達は午後の通常クラスへと向かう。私は・・・午前中からのクラスの後でお腹もペコペコ。ガタンガタンとトライシクルに揺れながら、翌週の対策と、子ども達のことを考えながら、帰途に着く。

さあ、12月の本番まで残りわずか！がんばろうね、6人のエンジェルたち！

秋の風景　四年生

・栗ひろい　楽しくひろお　でもいたい
・赤とんぼ　くるくるめまい　つかまった
（高山　ひなた）
・すずしいな　毎年の秋　また来てよ
（荒井　輝）
・モミジだよ、きれいないろで　かわいいな
（菅原　美雪）
・秋の山　じりじりじりじり　トンボの羽
（清水　雄介）

広告募集中です。セブ島通信の印刷費は広告料金でまかなっています。ぜひご協力ください。

【広告料金】
① 3分の1 2段 800ペソ
② 2分の1 2段 1,200ペソ
③ 3分の2 2段 1,600ペソ
④ 全幅 2段 2,400ペソ

【お願い】
① 最低6ヶ月は継続して下さい。
② この3号分は同一原稿です。
③ お支払いは前金原則です。
④ 完成した原稿をご用意下さい。

【お申し込みは】
セブ日本人会事務局
電話：032 － 343-8066
FAX：032 － 343-7663

GOOD

私のマーヨンなご近所

水野

我が家の周りにはいろいろな動物がいる。まずは闘鶏用のにわとり。家の周りには三十羽以上はいる。最初はうるさくてたまらなかったが、慣れるとどうということもないのが自分でも不思議だ。最近ではにわとりが一斉に鳴いたところで睡眠にはまったく影響がない。にわとりというのは、朝に鳴くものと思っていたが、そんなことはない。闘鶏用ということもあるのだと思うが、性格が荒いためか、一羽が何かの拍子に鳴き始めると、他のにわとりも負けじと反応し大合唱となる。時間帯は関係ない。大合唱となればテレビの音も聞こえなくなるくらいである。たまに運悪く電話中に大合唱が始まってしまう。電話の相手が日本人だと驚かれ、「すごいね、にわとりの鳴き声」と必ず言われ、その後、しばらく沈黙され、何とも言えない空気が流れる。おそらく電話の向こうでは、この人、どんなところに住んでいるんだ?と思われているのだと思う。

この闘鶏用のにわとりに紛れて地鶏が放し飼いされている。ブロイラーよりもかなり小さいが、かなり活発で、飛び回っている。高いところにも飛べる。我が家の屋根にもよく飛び上がっている。にわとりって飛べるんだと、セブに嫁いで初めて知った。

以前は七面鳥もいた。ホロホロホロと独特の鳴き声であたりを闊歩する。これまた人間の高さくらいの垣根なら平気で飛び越える。にわとりと比べてもかなりの大きさなので、これが飛びかかってくると恐怖である。そして近所の韓国レストランの、バケツに入った真っ赤な残飯をもりもり食べる。ある時、何羽かいるうちの二羽が井戸に落ちて大騒ぎになった。近所のオニイサンが、消防救助機動部隊(ハイパーレスキュー)並みにロープ一本で井戸の中に入って行き、無事に二羽の七面鳥を救出したのを見たときには危うくオニイサンに惚れそうになったっけ。

ヤギは群れでいる。もちろん野生ではなく、隣の叔母さんのヤギたちである。いつも叔母さんが経営している雑貨屋で売られている飼料の袋に頭を突っ込んでムシャムシャと食べている。ちょっと前までは、ヤギを飼うといえば、朝、その辺の原っぱに連れて行き、葉っぱを食べさせるというのが普通であったが、最近ではこのあたりも空き地なんてなくなってしまい、もっぱら飼料を食べさせているようだ。だからエサ代だってばかにならないと思うけど、叔母さん、あまりそこのところの細かい計算はしないらしく、売れば必ず儲かると本気で信じている。叔母さんの雑貨屋の飼料がなくなると、この辺を徘徊し、姑の植木の葉っぱを全部食べてしまい、姑と隣の叔母さんの喧嘩の火種となっている。ヤギはメーと鳴くと思っていたが、時々、アギャーと鳴く。聞きようによっては、人間の悲鳴に聞こえなくもなく、夜中に聞こえるとちょっと怖い。またヤギは瞳が四角く、じっと睨まれると何とも不気味である。

豚もいる。ある日突然、やって来た。それがみるみる内に大きくなっていく。よく豚みたいにブクブク太る、というが、なるほどと毎日、見ていると納得する。そして豚の生活は、本当に「食っちゃ寝」であった。窓から見える豚を横目に、ああなってはいけないと自分で自分を戒めている。豚も時々、驚くほどの大きな声で鳴く。たいていはお腹が空いているようで、エサの催促らしい。これを放っておくとだんだん悲痛な叫びとなる。こうなるとにわとりの大合唱よりうるさく、「豚にエサをやってください。」と、豚の代わりに隣の家に催促しに行かねばならない。ある晩、この豚の鳴き声がいつもより大きく聞こえてきた。外を見ると、数人の男たちが、この豚の首に縄をつけて、どこぞに引っ張っていった。もしかしてどっかに売られちゃうの?と、毎日、見ているうちに情が湧いてしまい、思わず「ドナドナ」を口ずさみしんみりしてしまった。

いや、豚に限らず、これらのほとんどは食用の家畜なのだ。闘鶏用のにわとりも、闘いに負ければ食べられてしまう。肉は噛みきれないほど硬いが、いい出汁が出る。祭りの前日の夜中の豚の断末魔と解体を見れば、トラウマになって、二度と豚肉は口にできなくなっても不思議ではないが、かわいそうとか言いながら、翌日、うまい、うまいと食べてしまう自分は薄情なのか。息子にいたっては、ひよこから可愛がり育てていた(ようにみえた)にわとりを自分の誕生日に食べてしまったり、パチンコで飛ぶ鳥を仕留めたと得意になっている。(仕留めた鳥をどうしたのかは恐ろしくて聞いていない。)草むらで大トカゲを見つければ、目の色を変え石で仕留めようとする周りの大人たちを見ているせいかたくましい。人間は命を食べて生きているのだと実感する。(谷掌。)

女35歳　セブ島で楽しく明るい貧乏生活

国際協力ボランティア団体 DAREDEMO HERO スタッフ
JUNKO

貧乏生活で一番大切なもの、それは「健康」です。

幸いにも、セブに移住してから1年半、大きな病気にかかることなく、一度も病院に行くこともなく生活できています。しかし、それはあくまでも「幸い」なことで、いつ病気にかかるかは、誰にも分かりません。

先日、DAREDEMO HERO のフィリピン人スタッフが緊急入院をしました。夜中に激しい腹痛に襲われ、救急病院に駆け込んだようです。簡易検査の結果、盲腸と診断され手術が必要とのこと。その際に請求された金額は、なんと 150,000 ペソ !!! しかもそのうち 70%を支払わなければ手術の日程も決まりません。日本で言えば、突然「100 万円もってこい」と言われるようなもの。大事なスタッフの命に関わることなので、代表も支援をして何とかお金を準備し、手術に向けて検査を進めることが出来ました。結果的に、糖尿病(さすがフィリピン人 !!)と太り過ぎ(?)で手術が難しく、薬で散らすことになりました。それにしても治療費は超高額。

今回フィリピン人スタッフが入院したのは、中級の私立病院です。フィリピン人曰く、緊急の際に公立病院に運び込まれると、順番待ちの間に死んでしまう可能性があるとのこと。確かに以前当団体の奨学生の母親が、交通事故にあった際も、血まみれで病院に行ったにもかかわらず、まずは「誰が支払いをするのか」が決まるまでは、治療してもらえなかったこともありました。お金がなければ、助かる命も助からないこの国で、貧乏はまさに死活問題です。

しかし、フィリピン人のすごいところは、親戚・友人・近所の人などからどうにかお金をかき集めてくることです。例えお金がなくても、しっかりと生き抜くすべを持っているのです。

この国で貧乏生活を続けていくためには、フィリピン人に習って人と人とのつながりを大切に、助け合いの精神を学んでいかなければいけないと、改めて感じました。そして何より、「健康第一 !!」楽しく明るい貧乏生活の継続のためにも、暴飲暴食は避け、健康管理をしっかりとしていきたいと思いました。

★セブ島通信に記事を掲載したい方は「メール:info@ja-cebu.com」迄、お問合せください。
★セブ島通信では、発行日(奇数月の月初)の1ヶ月前を締切として原稿を公募しております。